

始まりの龍はそして祖龍となる

愛瑠花 鳥音

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

妹好きすぎ女子高生が車にはねられルーツに転生！

妹すぎの彼女は迫り来る困難に立ち向かえるのか!?

転生物小説「始まりの龍はそして祖龍となる」ぜってー見てくれよな！

轉生

目次

1

転生

この世界には災厄と呼ばれる五つの龍がいる。災厄は一体で世界を滅ぼせるほどの力を持っていた。かの者達は国を滅ぼし地形を変え人々苦しめる力を持っていた。だが、彼の者達は誰1匹としてその力を人々に使おうとわしなかつた。

それは、1人の龍がいたからである
これは、1匹の龍が祖龍と呼ばれるまでの物語。

学校が終わりみんなが教室から出ていく。他の生徒達が部活に行くのを横目で見ながら私はカバンを持って学校を出る。

私の名前は舞弥 未来《まいや みらい》 高校2年生で妹と一緒に2人で暮らしている。

妹は、甘えん坊でお姉ちゃんと言っていつも私に引っ付いてくる。 とても愛おしく可愛い妹だ。

親はいつも仕事で月に一回か二回帰ってくる程度である。嫌いな訳でわないがあまり親とは喋らない。

私は友達に別れを告げ帰路に着く。

いつもなら友達と遊ぶか家でゴロゴロするところだが今日は妹と買い物に行く予定である。

そう今日はあのモンスターハンタートリプルXを買いに行かなければならない。

私達姉妹は、ガチ勢と言ってもいいようにモンハンをやり込んでいく。2からやっているがとても面白いと思う。

最近になって妹にやらせると妹もどハマリしてしまった。そのせ

いで自分のランクを越されそうになっていた。

さすがは我が妹恐るべし！

家に着くとすぐさま妹が来て「お姉ちゃん早く行こうよ♪」と行ってきた。

私も準備してすぐさま妹と出かける。歩いてる途中「お姉ちゃん楽しんでだね♪」とか「早くお姉ちゃんとやりたいな」と言ってくるから鼻血が止まらなかった。さすがうちの嫁。

そしてトリプルXを買い2人で家に帰ろうとする。

その時私は1人の子どもが車にはねられそうになっている事に気づいた。

気がついた頃には私はその子どもを突き飛ばしていた。その瞬間私の体は宙に浮いていた。数十秒後私の耳には救急車の来る音と愛しい妹の泣き声が聞こえてきた。

「泣かないで」と言いたかった。どんどん視界が暗くなって妹の声も聞こえなくなっていた。ああ 妹とモンハンやりたかった。最後に妹に「今までありがとう」と言えたのは嬉しかった。

お父さんお母さんそして妹の奈菜《なな》今までありがとう。飛んでいく意識の中で私は最愛の妹を思い静かに目を閉じた。

ん？

あれ？

あれれ？

私死んだはずなんだけどなー？もしかして「今までありがとう」とかカツコつけていったのに生きてた奴？

もし生きてたら私はずかしくて死ぬよ。↑死んでます。

あれ？でもなんか目が開けられない。でも腕？は動くこれは俗に

言う転生と言うやつじゃないかな？↑パニック状態

腕？が壁？に当たった。

ひどく脆そうな壁？だ壊したら出れるのでは！ よしガンバレ私の腕？フアイト私の腕？

バキバキッ

バキツバキ

光が眩しい！ 何も見えない！ じきに光が収まり私は外に出た。

そこには、現代じゃ考えられない世界が広がっていた。

妹よ 私はついにモンスターな世界でモンスターで誕生したよ。